

平成 25 年 5 月 8 日

Fukushima Ambassadors Program ～ 国際交流を希望に: ふくしま「ほんとうの空」プログラム～ 開催

東日本大震災から 2 年が経過し、風化や風評が進むにつれ、被災者を勇気づけるものは国内外からの来訪者との絶え間ない交流である。本事業は、学生・留学生に福島県内の被災地域でのフィールドワーク、ボランティア、農業体験等での地域住民との交流を通じて、学生・留学生が震災の悲惨さや、復興への課題、そして「FUKUSHIMA」の現状を正しく世界に発信することにより、地域住民が思い描く「ほんとうの空(智恵子抄より)」への希望となることを目的とする。

今回 3 回目の実施となる本事業では、福島大学の協定大学であり昨年 6 月にも同プログラムに参加をしたミドルテネシー州立大学(アメリカ、テネシー州)から短期留学生 10 名を招き、約 2 週間のプログラムを実施する。福島県内の大学に通う日本人学生(海外留学希望者等)及び留学生も語学アシスタントとして参加し、仮設住宅や被災地にてボランティア活動や、ホームステイを体験する。また、短期留学生が企画の国際イベントも実施し、地域住民との絆を深める。

今回 3 回目の実施となる本プログラムの特色として、地域の NPO 団体との意見交換や、地域住民からの提案による相馬市での漁業体験も実施される。

短期留学生・留学生には、情報不足からくる日本および福島に関する風評被害について実体験をおして正しく理解してもらうとともに、母国に帰国した際に口コミにて伝達されることが、日本人学生には、語学コミュニケーション能力の育成、海外留学先での情報発信能力に必須となる基礎知識の育成が期待される。そして学ぶ意欲ある学生と地域住民を繋げることは「現状を伝えたい」という地域住民にとって大きな力となると確信している。

実施時期: 平成 25 年 5 月 14 日(火) ~ 5 月 25 日(土)

学生参加人数: ミドルテネシー州立大学 短期留学生 10 名
福島大学 学生ボランティア 33 名

行程: 別紙の通り

備考: 本事業は、「公益財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業」採択事業である

お問い合わせは:
総務課 国際交流センター
担当マクマイケル
TEL 024-503-3066